

年齢に適した服装色に関する日本と中国の比較

石原久代*

Study on Age-Suitable Clothes Color for Japanese and Chinese

Hisayo ISHIHARA

Abstract

A comparative study was made on factors mediating clothes color for various ages of Japanese and Chinese. Eighty students of women's fashion and design colleges in Japan and 82 in China were used as the subjects. These student subjects were asked to choose only one color among 51 colors in a color chart as the most suitable color of tops or bottoms for each of 11 different age-groups covering 0 ~ 70-year-old persons. Their answers about the respective colors suitable for tops and bottoms were obtained. On the whole, a high-brightness color was most frequently chosen for tops of Japanese women, and a high-saturation color was for those of Chinese women. Regarding the color of bottoms, different color tones were almost equally chosen for Japanese, whereas low-brightness colors, especially black were most frequent for Chinese of both sexes. Regarding the color of bottoms for children at age 0 ~ primary school age, black was regarded as unsuitable in Japan, but it was regarded as suitable in China. As the color of clothes for children at age 0 ~ 3 years, bright colors were thought to be suitable in Japan, but saturated colors were in China.

1. はじめに

「派手」とは、色彩や服装、行動などが華やかで人目を引くことであり、「地味」とは、華やかさやけげんげしさのないことをいう。しかし、服装に関して、私たちは、時には同じ服装色であっても中高年の女性には「派手過ぎる」、若い女性には「地味である」と評価することがある。これらの評価は、服装色自体がもつ華やかさの度合いや着装者の顔面との適・不適の関係だけでなく、それぞれの年齢に適しているかどうかの判断が入っており、それらの評価には暗黙裡に年齢と服装色の間に適合関係が構築されていると考えられる。

これまで、服装色についてはイメージを扱った研究は多く報告^{1) 2) 3)}されているが、日

* 生活科学部 生活環境デザイン学科

常的に年齢に対して派手すぎるなどと評価しているにも関わらず、年齢との関係に焦点を当てて検討した研究は、ほとんど見当たらない。

日本のアパレルメーカーの多くは、中国をはじめとする東南アジアで生産する事業ケースが多く、特に中国が、その約8割を占め、日本とのつながりは深い。しかし、中国とは生産においてのつながりが深いものの、日本でデザインされたアパレル製品がそのまま中国国内の大衆に受け入れられているわけではい。ファッションにおいて成熟している日本では、シンプルで洗練された商品が受け入れられる傾向が強い。一方、ファッションにおいて発展途上にある中国は、シンプルなデザインより、ディテールを重視した装飾的なデザインの方が好まれ、日本で好まれる色彩やデザインが同じように中国の国民に好まれるとはいえない状況である。

それぞれの国や地域は、固有の文化的背景の上で発展を遂げた過程があり、それぞれ固有の嗜好があるといえる。日本が長い時間をかけてヨーロッパのファッションと融合してきたように、中国も1980年代まで、ほとんどの男性が人民服を着用しており、現在のような自由な服装の着用の歴史は浅い。しかし、この後、両国のファッションは相互に影響を与えあう関係に発展すると考える。

このような状況の中で、最近、日中の嗜好色の比較⁴⁾や女性のファッション傾向の比較などの研究⁵⁾は、いくつか行われてきている。しかし、日本同様、ファッションの選択に重要な年齢との適合関係に関する研究は、両国ともほとんど行われていない。

そこで、本研究では年齢に適した服装色を規定する要因を検討することとした。また、それらの要因は国によってどのように異なるかについて、アパレル商品において日本と最も関係が深く、近年アジア市場において非常に大きな力を発揮している中国を取り上げ、両国間の差についても検討を行った。今回の両国を通じた研究は、今後のアパレル商品の企画・販売などにおいて重要な手掛かりとなるものと考えられる。

2. 実験方法

2.1 試料

調査に用いた色彩は、表1に示したようなPCCSにおける、高彩度のv(ビビット)トーン、低彩度のg(グレイッシュ)トーン、高明度のlt(ライト)トーン、低明度のdk(ダーク)トーン

表1 試料表

色票	PCCS 記号	色名	L*	a*	b*
1	v2	ビビット レッド	50.65	65.37	22.57
2	v4	ビビット レディッシュ オレンジ	62.84	55.5	49.36
3	v6	ビビット イエローイッシュ オレンジ	75.56	24.78	63.75
4	v8	ビビット イエロー	85.94	-1.56	79.05
5	v10	ビビット イエローグリーン	73.93	-26.54	62.41
6	v12	ビビット グリーン	61.14	-53.84	22.25
7	v14	ビビット ブルーグリーン	50.58	-50.97	-0.09
8	v16	ビビット グリーンイッシュ ブルー	46.6	-20.1	-26.73
9	v18	ビビット ブルー	41.34	5.09	-36.69
10	v20	ビビット バイオレット	41.39	20.83	-36.87
11	v22	ビビット パープル	40.81	33.79	-30.74
12	v24	ビビット レッドパープル	43.93	53.37	-2.93
13	lt2	ピンク	75.85	30.55	14.18
14	lt4	イエローイッシュ ピンク	79.64	23.88	23.56
15	lt6	ライト オレンジ	83.6	11.13	39.51
16	lt8	ライト イエロー	88.89	-3.57	50.13
17	lt10	ライト イエローグリーン	84.87	-15.83	40.1
18	lt12	ライト グリーン	79.11	-27.2	13.09
19	lt14	ライト ブルーグリーン	74.79	-29.47	-2.16
20	lt16	ライト グリーンイッシュ ブルー	69.81	-20.69	-14.89
21	lt18	ライト ブルー	69.39	-6.18	-21.72
22	lt20	ライト バイオレット	67.59	5.42	-16.69
23	lt22	ライト パープル	70.3	17.94	-10.99
24	lt24	パープリッシュ ピンク	73.6	31.11	1.64
25	dk2	ダーク レッド	36.7	20.81	4.42
26	dk4	ダーク ブラウン	38.4	19.18	11.35
27	dk6	ダーク イエローイッシュ ブラウン	43.73	9.97	20.33
28	dk8	ダーク オリーブ	48.67	-0.09	27.4
29	dk10	ダーク イエローグリーン	45.25	-12.25	24.44
30	dk12	ダーク グリーン	39.27	-15.48	5.77
31	dk14	ダーク ブルーグリーン	36.16	-11.28	-3.83
32	dk16	ダーク グリーンイッシュ ブルー	35.29	-7.07	-11.05
33	dk18	ダーク ブルー	35.4	-1.32	-15.07
34	dk20	ダーク バイオレット	32.84	6.07	-14.72
35	dk22	ダーク パープル	31.83	9.99	-7.66
36	dk24	ダーク レッドパープル	34.5	18.09	-1.8
37	g2	グレイッシュ レッド	46.06	8.28	6.07
38	g4	グレイッシュ ブラウン	47.08	7.5	7.1
39	g6	グレイッシュ ブラウン	51.13	4.72	10.29
40	g8	グレイッシュ オリーブ	49.35	0.9	10.84
41	g10	グレイッシュ グリーン	51.19	-4	10.39
42	g12	グレイッシュ グリーン	47.72	-7.23	4.19
43	g14	グレイッシュ グリーン	47.63	-6.89	0.28
44	g16	グレイッシュ ブルー	46.6	-3.77	-3.33
45	g18	グレイッシュ ブルー	46.85	-1.12	-3.72
46	g20	グレイッシュ バイオレット	45.34	2.12	-4.57
47	g22	グレイッシュ パープル	45.27	5.37	-2.64
48	g24	グレイッシュ パープル	46.1	5.44	2.8
49	W	ホワイト	93.19	2.07	-2.56
50	Gv	メディウム グレイ	60.43	-0.84	2.02
51	Bk	ブラック	30.23	0.42	0.54

年齢に適した服装色に関する日本と中国の比較

ンの4トーン(偶数番号)の各12色の有彩色48色に、無彩色のW(白), Gy-5.5(灰), Bk(黒)を加えた計51色である。これらの色彩についてカラーハーモニックカード201(日本色彩研究所製)をたて1.5cm×よこ2cmの大きさに裁断し、Gy-6.0のグレー台紙に貼付してカラーチャートを作成した。なお、各色票はコニカミノルタ分光色彩計CM-600dにてL*, a*, b*値を測色し、表中に示した。

2.2 アンケート調査

年齢に適した服装色を検討するために、実験では年齢区分を0～3歳(幼稚園前), 3～6歳, 小学生, 中学生, 高校生, 20歳代, 30歳代, 40歳代, 50歳代, 60歳代, 70歳以上の11段階とした。

調査は、上記年齢区分のトップスとボトムスに分けて、それぞれの年代の服装色に適していると思う色彩各3色を前述のカラーチャートから選出させた。

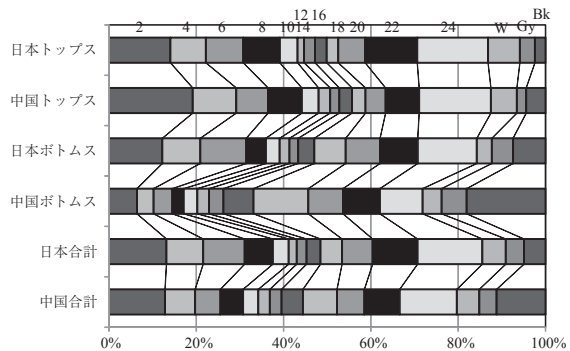
被験者は、卒業後デザイナーやファッション業界での専門職を目指しているファッションデザイン学科に所属している日本人女子大学生80名と中国(天津)のファッションデザイン専攻の女子大学生82名。実験実施時期は、日本は2010年1月、中国は2010年3月であった。得られたデータの出現数を集計し、年代別出現数を比較するとともに日本と中国の出現について等分散性の検定、およびスピアマンの順位相関により検討を行った。

3. 結果および考察

3.1 年齢に適した服装色の色相およびトーンの出現傾向

年齢に適した色彩の検討において、まず、全体にどのような色相が両国で選択されているかについて、女性のトップス、ボトムスおよびトータル(トータル)の色相の傾向を図1に示した。図中の数字はPCCSの24色相における色相番号である。トップスにおいて、日本と中国を比較すると、日本の女性は色相番号24の赤紫が最も多く選択され、次いで色相番号2の赤、22の紫と続いている。それに対して、中国の女性では赤が最も多く、赤紫、橙の順で選択され中国の方が暖色の割合が高い。ボトムスでは、日本の女性は赤紫、赤、色相番号6の黄みの橙、橙など暖色系が多く出現しているのに対して、中国の女性では色相番号16の青を中心とした寒色系と黒が多く選択され、トップスとボトムスについて異なる色味の傾向がうかがわれた。

次に日本と中国の女性のトーン別の集計結果を図2に示した。女性のトップスにおいて、日本の女性ではlt(ライト)トーンが最も多く出現しているのに対して、中国の女性ではv(ビビッド)トーンが最も多く、ltトーン, dk(ダーク)トーンと続き、日本に比べて低明度色の選択率が高



※図中の数字は色相番号

図1 色相の出現率(%)

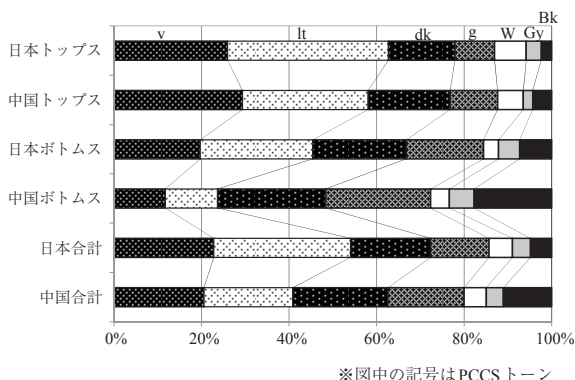


図2 トーンの出現率 (%)

3.2 年齢に適した服装色に関する日本と中国の検討

女性のトップスに適している色彩について日本と中国における各年代の出現率を表2に示した。なお、20%以上の出現率については太字で示した。

まず、日本のトップスの0歳～3歳の出現についてみると、高明度のlt24(パープリッシュピンク)が55.0%と最も多く挙がっており、次いでlt2(ピンク)が52.5%、lt8(ライトイエロー)が42.5%と続いており、高明度の暖色系の色彩が多く選出されている。またW(白)についても40.0%と他の年代に比べて最も多く挙がり、赤ちゃんの色としても認識されていることが判る。それに対して中国では、lt2(ピンク)が50.0%やlt24(パープリッシュピンク)は多く挙がっているが、その他はv2(あざやかな赤)が41.5%、v8(あざやかな黄)が30.5%、など高彩度の色彩も挙がっており、日本とは異なる結果であった。また、白についても出現率は4.9%のみであり、この点も大きく異なっている。

3歳～6歳の幼児については、日本では高明度のlt24のパープリッシュピンクが多く挙がっており、次いでlt8の明るい黄、あざやかな赤、白などが挙がっている。一方、中国でもlt24のパープリッシュピンクは多く挙がっているが、lt2や高彩度のv2のあざやかな赤の方が多く挙がっておりトーンより色相に依存しているように思われる。

小学生は、日本、中国とも似た傾向を示し、3～6歳と同様v2, v4, v6, v8のあざやかな暖色が多く出現しており、ライトトーンではlt2, lt24が集中して出現している。しかし白については0～3歳と同様日本のみで、中国ではわずかな出現であった。

lt24のパープリッシュピンクは両国とも20歳代以下の各年代でいずれも20%以上の出現率を示しており、トップスにおいては若い女性の象徴的色彩といえよう。しかし、30歳以上では、両国とも急激に少なくなっている。逆にdk2の暗い赤が中国では30歳代から70歳代以上まで20%以上を示し、中高年女性の色彩と考えられる。dk2については、日本でも50歳代以上で多く挙がってきており、国を超えて中高年の色と考えられていることが判明した。同じく中高年の色としてdk24の暗い赤紫も40歳代以上で多く挙がっている。

なお、白については日本では低年齢層だけでなく30歳代以下で20%以上挙がっており、若者の色としてとらえられており、中高年には合わないとい評価されている。一方で中国では、中学生から30歳代までで挙がっており、中学校において突然挙がってきているのは中学校、高等学校の制服がトップスに白が使われていることによると考えられる。

い。また、ボトムスでは、日本の女性は各トーン均等に選ばれているが、中国の女性はltトーンが少なく、dkトーン、g(グレイシュ)トーン多く選択されている。さらに、無彩色についてトップス、ボトムスとも日本に比べ中国では、黒が非常に多く選択されており、両国に大きな差が認められた。

年齢に適した服装色に関する日本と中国の比較

表2 日本と中国のトップス色の出現率

(単位：%)

色票	P C C	0～3歳		3～6歳		小学生		中学生		高校生		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代	
		日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国
1	v2	7.5	41.5	25.0	35.4	20.0	31.7	28.8	23.2	23.8	29.3	8.8	22.0	8.8	19.5	12.5	17.1	6.3	14.6	5.0	14.6	1.3	17.1
2	v4		17.1	20.0	31.7	16.3	24.4	17.5	12.2	10.0	6.1	5.0	14.6	2.5	3.7		1.2	1.3		1.3	2.4	2.5	1.2
3	v6	1.3	12.2	21.3	28.0	31.3	24.4	13.8	6.1	8.8	7.3	2.5	6.1	3.8		2.5		5.0	1.2	2.5			1.2
4	v8	5.0	30.5	22.5	23.2	31.3	26.8	16.3	7.3	10.0	7.3	2.5	14.6	5.0		5.0		1.3			2.4	1.3	1.2
5	v10	1.3	6.1	6.3	8.5	3.8	3.7	2.5	11.0	6.3	1.2	1.3	4.9	3.8		2.5		3.8	1.2		1.2		1.2
6	v12	1.3	1.2		2.4	2.5	2.4		3.7		2.4		2.4	2.5	2.4		1.2		1.2	1.3			1.2
7	v14			1.3		2.5	1.2	1.3	1.2	2.5		2.5	2.4	5.0	3.7	2.5		2.5	1.2	2.5		1.3	1.2
8	v16			1.3	1.2	1.3	2.4	1.3	1.2	2.5	2.4	2.5	1.2	6.3	4.9	3.8		1.3	1.2	3.8			
9	v18			1.3	4.9	1.3	6.1	3.8	2.4	5.0	7.3	7.5	6.1		2.4		1.2	2.5	2.4				
10	v20			1.3	2.4	1.3	6.1	3.8	4.9	7.5	2.4	6.3	6.1	6.3	8.5	10.0	7.3	5.0	2.4	5.0	1.2	5.0	
11	v22	1.3	7.3	1.3	3.7	3.8	7.3	8.8	15.9	13.8	7.3	13.8	6.1	10.0	13.4	18.8	3.7	26.3	2.4	10.0	1.2	7.5	2.4
12	v24		4.9	8.8	11.0	8.8	19.5	15.0	19.5	26.3	17.1	26.3	22.0	23.8	24.4	23.8	14.6	17.5	14.6	5.0	4.9	10.0	4.9
13	lt2	52.5	50.0	23.8	37.8	21.3	23.2	13.8	23.2	27.5	15.9	8.8	13.4	7.5	3.7	11.3	4.9	4.9	8.8				1.3
14	lt4	32.5	17.1	16.3	12.2	11.3	9.8	8.8	9.8	8.8	8.5	10.0	7.3	15.0	4.9	5.0	4.9	2.5	1.2	5.0			2.5
15	lt6	32.5	13.4	13.8	11.0	12.5	8.5	6.3	7.3	2.5	6.1	10.0	1.2	10.0	2.4	11.3	1.2	5.0		2.5			1.3
16	lt8	42.5	26.8	28.8	15.9	17.5	9.8	22.5	14.6	5.0	11.0	8.8	17.1	8.8	4.9	1.3		2.5	1.2	3.8	2.4	2.5	3.7
17	lt10	5.0	8.5	2.5	7.3	3.8	2.4	3.8	3.7	2.5	4.9	3.8	4.9	5.0	7.3	11.3	1.2	5.0	1.2	1.3	1.2	2.5	1.2
18	lt12	3.8	6.1	2.5	3.7	1.3	2.4	1.3	7.3	1.3	3.7	2.5	1.2		3.7		2.4	1.3		1.3			1.2
19	lt14	3.8	1.2	7.5	3.7	7.5	4.9	3.8	4.9	5.0	6.1	1.3	2.4	5.0	2.4	1.3	1.2	3.8	1.2		1.2		1.3
20	lt16	1.3	3.7	2.5		8.8	8.5	3.8	6.1	6.3	12.2	1.3	6.1	5.0	1.2	1.3	1.2	3.8	1.2				2.5
21	lt18		3.7	3.8	1.2	5.0	6.1	6.3	8.5	3.8	8.5	6.3	1.2	3.8	1.2	3.8	3.7	3.8	1.2		2.4	2.5	1.2
22	lt20	1.3	2.4	3.8	2.4	3.8	12.2	3.8	12.2	2.5	9.8	12.5	4.9	13.8	6.1	7.5	3.7	10.0	1.2	11.3	1.2	3.8	
23	lt22	11.3	2.4	13.8	11.0	11.3	9.8	12.5	18.3	10.0	12.2	17.5	12.2	30.0	7.3	22.5	3.7	16.3	3.7	16.3	1.2	20.0	
24	lt24	55.0	36.6	41.3	34.1	38.8	34.1	35.0	30.5	27.5	30.5	21.3	24.4	7.5	12.2	5.0	4.9	2.5	1.2	1.3	3.7	2.5	2.4
25	dk2								2.4		2.4	3.8	2.4	2.5	23.2	10.0	32.9	23.8	23.2	23.8	25.6	18.8	20.7
26	dk4		1.2	2.5			1.2		1.2	1.3	3.7		6.1	3.8	11.0	2.5	17.1	7.5	22.0	12.5	14.6	16.3	14.6
27	dk6		1.2			1.3		3.8		1.3	1.2	1.3	1.2	6.3	11.0	6.3	14.6	5.0	11.0	11.3	12.2	15.0	6.1
28	dk8							1.3	1.2				1.2		4.9	5.0	7.3	7.5	2.4	7.5	9.8	8.8	4.9
29	dk10									1.3	1.2	5.0		2.5	2.4	3.8	4.9	6.3	2.4	8.8	8.5	2.5	2.4
30	dk12											2.5		1.3		1.3	1.2	5.0	6.1	2.5	2.4	5.0	2.4
31	dk14				1.2										1.2	1.3	4.9	1.3	6.1	1.3	4.9	2.5	
32	dk16									1.3		2.5	2.4	1.3	3.7	1.3	1.2	5.0	1.2	3.8	2.4	3.8	1.2
33	dk18				1.2			2.5	1.2	2.5			1.2	2.5	1.2	3.8	1.2	2.5	4.9		3.7	3.8	1.2
34	dk20							2.5	1.2	3.8	1.2	3.8		1.3	3.7	6.3	6.1	7.5	9.8	7.5	6.1	8.8	7.3
35	dk22				1.3		1.3	1.3	2.4	3.8		2.5	3.8	1.2	5.0	17.1	15.0	18.3	16.3	12.2	11.3	13.4	
36	dk24					1.2		1.2			3.7	2.5	2.4	5.0	12.2	16.3	26.8	26.3	34.1	21.3	20.7	27.5	19.5
37	g2							2.5		2.5		3.8	3.7	5.0	4.9	6.3	8.5	7.5	12.2	12.5	13.4	15.0	9.8
38	g4							2.5		1.2	2.5	1.2	2.5	2.4	6.3	4.9	2.5	9.8	1.3	13.4	8.8	9.8	
39	g6	1.3						2.5		1.2	1.3	1.2		1.2	6.3	6.1	2.5	12.2	2.5	11.0	12.5	9.8	
40	g8					1.3				1.2	5.0			1.2	2.5	6.1	3.8	4.9	5.0	7.3	8.8	9.8	
41	g10									1.3	1.2	2.5	1.2		3.8	4.9	3.8	3.7	7.5	4.9	7.5	4.9	
42	g12											1.3			3.7	1.3	4.9	1.3	1.2	2.5	4.9	2.5	7.3
43	g14											1.3		1.3	1.2	1.3	2.4	2.5	1.2	3.8	1.2	1.3	3.7
44	g16				1.2						1.2	1.3	1.2		2.4		2.4	1.3	2.4	3.8	8.5	2.5	8.5
45	g18											2.4	1.3		2.5		3.8	2.4	2.5	6.1			2.4
46	g20								2.5		2.5		1.3		6.3	1.2	5.0	2.4	7.5	3.7	10.0	9.8	
47	g22						1.3		1.3		3.8		1.3		2.4	3.8	3.7	2.5	9.8	11.3	8.5	8.8	9.8
48	g24									1.3					1.2	2.5	7.3	2.5	8.5	13.8	9.8	8.8	17.1
49	W	40.0	4.9	25.0	2.4	26.3	9.8	33.8	23.2	21.3	41.5	38.8	39.0	31.3	34.1	8.8	7.3	3.8	8.5	6.3	9.8	3.8	13.4
50	Gy					3.8		3.8		15.0	2.4	13.8	7.3	28.8	7.3	15.0	8.5	10.0	6.1	10.0	15.9	13.8	23.2
51	Bk			1.3	1.2			8.8	11.0	21.3	17.1	16.3	20.7	8.8	22.0	8.8	17.1	6.3	12.2	6.3	17.1	1.3	25.6

全般的に年齢が上がると高彩度、高明度色が減少し、低明度色に移行していることがよくわかる。

次にボトムスに適している色彩について、日本と中国における各年代の出現率を表3に示した。

0歳～3歳について、日本は、lt4の高明度の橙が最も多く、次いでlt24、lt8、lt6と高明度のライトトーンの色が選出されている。また、トップス同様ボトムスにおいても白が多く挙がっている。一方、中国の0歳～3歳の出現についてみると、高明度のlt24のパープリッシュピンクが最も多いが、他の暖色系の高明度色はそれほど多くはなく、2位には

表3 日本と中国のボトムス色の出現率

(単位：%)

色票	P CCS	0~3歳		3~6歳		小学生		中学生		高校生		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代				
		日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国	日本	中国			
1	v2	10.0	20.7	22.5	13.4	40.0	11.0	13.8		16.3	1.2	2.5	4.9	2.5		2.5	1.2			3.7		1.2		1.3	2.4	
2	v4	2.5	11.0	20.0	1.2	18.8	3.7	10.0	2.4	8.8		3.8	1.2	2.5								1.3				
3	v6	7.5	14.6	21.3	6.1	21.3	2.4	12.5	2.4	7.5	1.2	1.3	1.2	5.0						1.2				2.5	2.4	
4	v8		12.2	17.5	6.1	13.8	1.2	5.0	3.7	5.0	2.4		1.2	2.5					1.3			1.3			1.3	
5	v10	2.5	2.4	6.3	7.3	6.3	1.2	7.5	1.2		2.4			1.3					1.3							
6	v12	1.3	1.2	1.3	4.9	1.3	2.4	2.5	1.2	2.5		1.3														
7	v14		3.7	2.5	3.7	1.3	4.9	1.3	1.2	5.0	3.7	1.3		1.3				1.3			1.2					
8	v16	1.3	3.7	2.5	2.4	8.8	6.1	8.8	4.9	5.0	3.7	1.3	3.7	3.8				1.3			1.3					
9	v18		3.7	6.3	4.9	7.5	14.6	11.3	2.4		8.5	7.5	6.1	1.3	2.4	5.0	1.2		1.2		1.2		1.2	2.5		
10	v20		6.1	5.0	7.3	6.3	11.0	8.8	1.2	3.8	3.7	3.8	3.7	10.0				2.5		6.3					5.0	
11	v22	1.3	6.1	3.8	8.5	3.8	12.2	1.3	8.5	10.0	4.9	3.8		6.3				6.3	2.4	5.0			3.8		5.0	
12	v24	3.8	8.5	13.8	17.1	20.0	22.0	11.3	7.3	17.5	2.4	21.3	2.4	11.3				7.5		5.0			3.8		1.3	
13	lt2	35.0	12.2	23.8	6.1	12.5	3.7	7.5	4.9	12.5	1.2	10.0	1.2					5.0		1.3						
14	lt4	41.3	2.4	11.3	7.3	6.3	2.4	5.0	2.4	2.5	1.2	7.5	2.4	2.5				2.5				1.3			1.3	
15	lt6	33.8	6.1	20.0	1.2	7.5	4.9	6.3		10.0	1.2	6.3		5.0				6.3	1.2	5.0			1.3		2.5	
16	lt8	36.3	19.5	12.5	3.7	7.5	2.4	5.0	3.7	3.8	1.2	3.8	1.2					3.8	2.4	1.3					1.3	
17	lt10	7.5	2.4	3.8	3.7	5.0	1.2	3.8	6.1		1.2	1.3	1.2	1.3						1.3						
18	lt12	6.3	3.7	3.8	1.2	6.3	3.7	2.5	2.4	3.8	1.2							1.3					1.3			
19	lt14	3.8	3.7			3.8	4.9	8.8		5.0	2.4	3.8	1.2	1.3						1.3					1.3	
20	lt16	1.3	11.0	7.5	11.0	8.8	11.0	7.5	2.4	5.0	4.9	3.8	3.7		1.2	1.3			1.3						1.3	
21	lt18	5.0	9.8	7.5	9.8	12.5	8.5	15.0	3.7	5.0	4.9	8.8	6.1	3.8	6.1	2.5									1.3	
22	lt20	8.8	12.2	6.3	12.2	3.8	2.4	1.3	4.9	10.0	1.2	5.0	3.7	8.8	3.7	5.0		1.2	2.5			3.8			6.3	
23	lt22	18.8	8.5	13.8	19.5	3.8	12.2	7.5	1.2	6.3	3.7	8.8	6.1	5.0	3.7	6.3			3.8			1.3			7.5	
24	lt24	37.5	31.7	32.5	15.9	32.5	4.9	20.0	7.3	11.3		12.5	2.4	8.8	1.2	3.8	2.4	1.3				1.3			1.2	
25	dk2	1.3	6.1		6.1	1.3	8.5			12.2	8.8	3.7	6.3	4.9	6.3	7.3	10.0	3.7	16.3	6.1	21.3	7.3	11.3	1.2	1.2	
26	dk4		2.4		2.4		4.9	1.3	4.9	3.8	1.2	2.5	4.9	7.5	7.3	16.3			12.5	4.9	8.8	2.4	11.3	4.9	4.9	
27	dk6			5.0		5.0	3.7	3.8	6.1	2.5	1.2	3.8	3.7	7.5	2.4	12.5	7.3	10.0	3.7	22.5				18.8	3.7	
28	dk8		2.4	1.3	1.2		1.2		2.4		1.2	2.5	4.9	2.5				2.5	6.1	2.5	2.4	7.5	2.4	6.3	6.3	
29	dk10		1.2		3.7	2.5	2.4	1.3	3.7	1.3	1.2	1.3	2.4	1.3	4.9	2.5	4.9	3.8	2.4	5.0	2.4	5.0			5.0	
30	dk12		2.4		3.7		3.7	1.3	3.7	8.8	1.2		2.4					6.1	1.3	1.2	7.5	2.4	5.0	3.7	1.3	1.2
31	dk14		1.2		2.4		2.4		1.2	2.5	4.9	2.5	2.4		1.2			1.2	3.8	2.4	6.3	1.2			2.4	
32	dk16		3.7	1.3	8.5	3.8		5.0	13.4	2.5	13.4		7.3	1.3	7.3	10.0	7.3	2.5	3.7	3.8	4.9	2.5	4.9		4.9	
33	dk18	1.3	3.7		11.0	2.5	13.4	13.8	29.3	18.8	34.1	12.5	30.5	15.0	22.0	12.5	22.0	11.3	14.6	6.3	12.2	2.5	12.2		12.2	
34	dk20		4.9	3.8	12.2		4.9	12.5	9.8	6.3	9.8	6.3	9.8	11.3	13.4	2.5	17.1	8.8	4.9	10.0	3.7	6.3	6.1		6.1	
35	dk22		6.1		6.1		8.5	5.0	12.2		3.7	3.8	6.1	6.3	11.0	12.5	9.8	26.3	9.8	16.3	7.3	15.0	8.5		8.5	
36	dk24		6.1	6.3	7.3		9.8	1.3	15.9	7.5	11.0	11.3	1.2	10.0	11.0	12.5	13.4	12.5	11.0	23.8	9.8	12.5	7.3		7.3	
37	g2		3.7	1.3	1.2	5.0	3.7	3.8	3.7	3.8	6.1	6.3	6.1	8.8	2.4	22.5	2.4	13.8	6.1	13.8	6.1	21.3	11.0		11.0	
38	g4	1.3	2.4	2.5	1.2	2.5	3.7	2.5	1.2		3.7	6.3	4.9	10.0	2.4	5.0	3.7	16.3	11.0	15.0	4.9	8.8	6.1		6.1	
39	g6	2.5		1.3	2.4	1.3	7.3	2.5	2.4	1.3	7.3	6.3	3.7	5.0	8.5	11.3	4.9	15.0	6.1	6.3	7.3	16.3	11.0		11.0	
40	g8	1.3			2.4		2.4	2.5	1.2		4.9	2.5	1.2	2.5	4.9	5.0	11.0	6.3	9.8	10.0	7.3	2.5	9.8		9.8	
41	g10		2.4				2.4		3.7		3.7	2.5	6.1	3.8	3.7	1.3	3.7	6.3	7.3	3.8	6.1	11.3	2.4		2.4	
42	g12						1.2	1.3	3.7	2.5		1.3	3.7	1.3	3.7	1.3	2.4		7.3	5.0	7.3	1.3	3.7		3.7	
43	g14		2.4		2.4		3.7				2.4		6.1		7.3			9.8	2.5	6.1	2.5	11.0	2.5	2.4		2.4
44	g16				4.9		2.4		4.9		6.1	1.3	11.0	2.5	13.4	5.0	8.5	2.5	6.1	3.8	9.8	2.5	12.2		12.2	
45	g18		1.2		4.9	1.3	3.7	5.0	7.3	2.5	7.3	1.3	4.9	5.0	13.4	5.0	15.9	2.5	13.4	7.5	19.5	6.3	15.9		15.9	
46	g20				3.7		7.3	2.5	2.4	2.5	3.7	7.5	4.9	12.5	6.1	15.0	9.8	12.5	19.5	10.0	20.7	12.5	9.8		9.8	
47	g22		1.2	1.3	2.4	2.5	3.7	1.3	2.4	1.3	4.9	3.8	4.9	5.0	7.3	6.3	6.1	7.5	9.8	8.8	20.7	27.5	24.4		24.4	
48	g24			1.3	6.1		2.4	5.0	4.9	1.3	2.4	7.5	2.4	5.0	3.7	6.3	6.1	13.8	13.4	8.8	25.6	18.8	19.5		19.5	
49	W	26.3	12.2	7.5	6.1	6.3	8.5	11.3	20.7	15.0	17.1	11.3	17.1	15.0	18.3	11.3	15.9	6.3	7.3	1.3	8.5	1.3	9.8		9.8	
50	Gy	1.3	4.9	1.3	4.9	5.0	6.1	7.5	7.3	11.3	13.4	18.8	20.7	23.8	23.2	17.5	25.6	22.5	29.3	27.5	22.0	22.5	29.3		29.3	
51	Bk		12.2	1.3	18.3	2.5	23.2	26.3	43.9	40.0	72.0	52.5	68.3	47.5	69.5	26.3	68.3	17.5	72.0	17.5	63.4	11.3	74.4		74.4	

v2の高彩度の赤が挙がっている。3歳～6歳の幼児については、日本では1位にトップスと同じくlt24のパープリッシュピンクが挙がり、次いでlt2、v2の順で何れも20%以上であるが、中国においては20%以上出現した色彩は全くなく、色相、トーンともかなり分散した結果であった。

小学生の出現色について、日本ではv2が40.0%と最も多く、ライトトーンより高彩度のビビットトーンに移行している様子がうかがえる。しかし、中国においては黒が最も多く、23.2%を占め、それ以上の年齢である中学生で43.9%、高校生で72.0%、20歳代で68.3%、30歳代で69.5%、40歳代で68.3%、50歳代で72.0%、60歳代で63.4%、70歳以上

年齢に適した服装色に関する日本と中国の比較

で74.4%と高校生以上の年代で70%前後の非常に高い出現率を示している。また、中学生、高校生、20歳代、30歳代、40歳代はdk18の暗い青も高い出現率を示し、この2色の占める割合が非常に大きい。しかし、dk18については50歳以上になると減少していることから、若い女性のボトムスの色として認識されていると考えられる。

なお、黒については、年代との関係よりもボトムスの色として認識されており、どの年代にも無難に着用される色と考えられる。一方、日本において、黒は中学生で26.3%、高校生で40.0%、20歳代で52.5%、30歳代で47.5%、40歳代で26.3%と高い出現率を示しているものの中国に比べればかなり少ない。さらに、50歳以上では20%以下であり、50歳代ではdk22、60歳代ではdk24と暗い紫が多く挙がっている。また、トップスでは中国の70歳以上でしか挙がってこなかったグレーが30歳以上で多く挙がっており、これも、ボトムス特有の色彩であるといえる。日本においては高明度色や高彩度色も多少は中高年でも挙がっているが、中国ではほとんど挙がっておらず、ボトムスについて中国ではかなり色彩が限定されている。これらのことから年齢だけでなく暗黙裡にアイテムであるボトムスとしての色彩も認識されているのではないかと考えられる。

各年代の出現動向を探るために、表4に各年代の出現率をもとに算出したスピアマンの順位相関係数を示した。日本のトップスの色彩については0～3歳は、3～6歳、小学生、中学生、20歳代と1%水準で有意な高い相関が得られ、高校生と30歳代は5%水準の有意な相関が得られた。また、3～6歳は小学生、中学生、高校生と高い相関係数が得られ、小学生は中学生と高校生というように近い年代において高い相関が得られており、離れた年代とは相関が得られていない。また、70歳以上は0～3歳、3～6歳、小学生、中学生、高校生、20歳代、30歳代などの若年女性とは負の相関が得られている。これらから明らかに年代による色彩の出現に差が認められ、年代にあった色彩が暗黙裡に構築されていると考えられる。

次に、中国の女性のトップスについて、高い相関を示したのは、0～3歳、3～6歳、小学生、中学生、高校生、20歳代の中では相互に非常に高い相関が得られている。一方で、中高年である50歳代、60歳代、70歳以上でも、すべてに1%水準の有意な高い相関が得られた。しかし、30歳代は中学生、高校生、20歳代とやや高い相関が得られ、40歳代は30歳代のみとやや高い相関が得られているだけで他の年代と際立った相関は得られていない。これらの結果から、中国女性のトップスの傾向として、20歳以下の若年層のグループと50歳以上のグループで大きな色彩群に分けられ、その間に30歳代、40歳代があるという構造になっていると推察される。

日本のボトムスについては、0～3歳においては、3～6歳および小学生と有意な相関が得られ、3～6歳では0～3歳および小学生と、小学生は3～6歳と中学生というように近い年齢間で高い正の相関が得られ、その他の年齢とは高い相関が得られていないことから、年齢と適合する色彩の傾向が明確化している様子がうかがえる。また、40歳以上の各年齢段階は互いに高い相関を示しており、ボトムスにおける色彩について、40歳以上はほとんど同傾向で捕らえられていることが判明した。一方で0～3歳、3～6歳、小学生と50歳以上の中高年の色彩とは負の有意な相関係数が得られ、適していない色彩も明確化している様子がうかがえる。

中国のボトムスについては、日本に比べ高校生以上のすべての年代でそれぞれ有意な高

表4 スピアマンの順位相関行列

** 1% * 5%

年代	0~3歳	3~6歳	小学生	中学生	高校生	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
日本 (トップス)	0~3歳	—								
	3~6歳	0.757 **	—							
	小学生	0.610 **	0.932 **	—						
	中学生	0.675 **	0.820 **	0.875 **	—					
	高校生	0.414 *	0.506 **	0.653 **	0.772 **	—				
	20歳代	0.567 **	0.309	0.369	0.614 **	0.582 **	—			
	30歳代	0.478 *	0.238	0.215	0.515 **	0.571 **	0.690 **	—		
	40歳代	0.167	0.050	0.063	0.327	0.481 **	0.606 **	0.578 **	—	
	50歳代	-0.254	-0.192	-0.075	0.083	-0.153	0.375 *	0.218	0.604 **	—
	60歳代	0.045	-0.223	-0.155	-0.150	-0.183	0.208	0.182	0.364 *	0.683 **
70歳以上	-0.295	-0.248	-0.511 **	-0.398 *	-0.307	-0.016	-0.079	0.301	0.537 **	0.626 **
中国 (トップス)	0~3歳	—								
	3~6歳	0.829 **	—							
	小学生	0.870 **	0.863 **	—						
	中学生	0.813 **	0.826 **	0.876 **	—					
	高校生	0.750 **	0.729 **	0.830 **	0.853 **	—				
	20歳代	0.653 **	0.671 **	0.752 **	0.760 **	0.800 **	—			
	30歳代	0.223	0.211	0.279	0.438 *	0.491 *	0.541 **	—		
	40歳代	-0.219	-0.297	-0.250	-0.056	0.060	0.014	0.535 **	—	
	50歳代	-0.417 *	-0.426	-0.423	-0.251	-0.143	-0.091	0.286	0.776 **	—
	60歳代	-0.420 *	-0.509 **	-0.524	-0.366	-0.233	-0.131	0.252	0.738 **	0.783 **
70歳以上	-0.363	-0.506	-0.490	-0.329	-0.218	-0.138	0.215	0.640 **	0.696 **	0.878 **
日本 (ボトムス)	0~3歳	—								
	3~6歳	0.696 **	—							
	小学生	0.455 *	0.810 **	—						
	中学生	0.206	0.454 *	0.586 **	—					
	高校生	0.050	0.504 **	0.375 *	0.548 **	—				
	20歳代	0.234	0.149	0.155	0.427 *	0.514 **	—			
	30歳代	-0.145	-0.104	-0.083	0.189	0.473 *	0.657 **	—		
	40歳代	-0.262	-0.378 *	-0.414 *	-0.005	0.130	0.525 **	0.639 **	—	
	50歳代	-0.476 *	-0.553 **	-0.527 **	-0.199	-0.009	0.413 *	0.601 **	0.659 **	—
	60歳代	-0.726 **	-0.624 **	-0.672 **	-0.240	-0.132	0.135	0.377 *	0.560 **	0.752 **
70歳以上	-0.421 *	-0.732 **	-0.656 **	-0.317	-0.244	0.116	0.433 *	0.602 **	0.707 **	0.719 **
中国 (ボトムス)	0~3歳	—								
	3~6歳	0.558 **	—							
	小学生	0.401 *	0.410 *	—						
	中学生	0.195	0.376 *	0.186	—					
	高校生	-0.035	0.260	0.432 *	0.354	—				
	20歳代	-0.019	0.188	0.309	0.371 *	0.583 **	—			
	30歳代	-0.217	0.147	0.237	0.517 **	0.636 **	0.735 **	—		
	40歳代	-0.255	0.004	0.093	0.468 **	0.550 **	0.575 **	0.784 **	—	
	50歳代	-0.401 *	-0.138	0.097	0.321	0.525 **	0.585 **	0.781 **	0.838 **	—
	60歳代	-0.402 *	-0.085	0.085	0.329	0.552 **	0.616 **	0.823 **	0.840 **	0.949 **
70歳以上	-0.333	-0.046	0.083	0.376 *	0.545 **	0.576 **	0.784 **	0.792 **	0.915 **	0.881 **

い相関が得られ、日本よりも同傾向を示す年齢範囲が広いことが判明した。従ってボトムスの年齢による適合色は高校生以上と小学生以下と大きく2極化し、日本より低い年齢ではっきり暗黙裡に区分されていることが判明した。

日本と中国のそれぞれの年齢区分において等分散性の検定を行った結果を表5に示した。女性のトップスにおいては、すべての年代で分散に差は認められなかったが、ボトムスにおいては、20歳代で差が認められなかったのみで、他の年代はすべてに1%あるいは5%の危険率で有意な差が認められ、ボトムスの色彩傾向は両国で異なることが判明した。従って、中国でも受け入れてもらえるファッション製品をデザインするためには、

表5 日本と中国の等分散性の検定結果

年齢	トップス		ボトムス	
	統計量: F	p値	統計量: F	p値
0~3歳	1.404	0.233	3.195	0.000
3~6歳	1.178	0.566	2.538	0.001
小学生	1.044	0.881	2.583	0.001
中学生	1.183	0.555	2.019	0.014
高校生	1.249	0.435	2.648	0.001
20歳代	1.235	0.457	1.738	0.053
30歳代	1.028	0.924	2.066	0.012
40歳代	1.582	0.108	3.375	0.000
50歳代	1.356	0.285	3.144	0.000
60歳代	1.264	0.410	2.415	0.002
70歳以上	1.295	0.363	3.069	0.000

日本とボトムスの色彩において大きな差があることを念頭に入れて企画する必要があることが示唆された。

4. まとめ

ファッション業界において互いに影響し合っている日本と中国を取り上げ、年齢に適した服装色を規定する要因について検討を行った。

実験は、PCCS表色系をもとに51色を選出し、作成したカラーチャートの中から0歳～70歳以上までを11段階に分け、各年齢に適していると思う色をトップスとボトムスに分けて選出させる方法を用いた。被験者は、ファッション系大学の日本人女子学生80名と同じく中国人女子学生82名である。

その結果、日本と中国の全体傾向では、日本の女性のトップスでは高明度の色彩が多く出現しているのに対し、中国の女性では高彩度が多かった。ボトムスは日本の方が比較的均等に各トーンが選択されているが、中国では低明度の色彩が非常に多く、特に、黒が非常に多く選択された。日本では、0歳～小学生のボトムスにおいて、ほとんど黒は適さないと判断されているのに対し、中国では小学生以下でも黒が適していると判断されている。0～3歳において、日本では明るい色が適していると判断しているのに対し、中国では鮮やかな色彩が適していると判断された。

なお、日本と中国の各年齢において等分散性の検定を行ったところ、トップスには有意な差が認められなかったが、ボトムスには有意な差が認められた。また、スピアマンの順位相関係数から日本の方が年齢と服装色の関係が明確であり、中国の方が適合する色彩の年齢に幅があることが明らかになった。

引用・参考文献

- 1) 神谷綾子, 石原久代: 振袖の着装イメージに関与する色彩要因の検討, 日本繊維製品消費科学会誌, Vol. 49 No. 12 (2008)
- 2) 石原久代, 加藤千穂, 神谷綾子: 着装イメージに関与するきものと袴の色彩要因, 名古屋女子大学紀要 家政・自然編, No. 54 (2008)
- 3) 山縣亮介, 鷺津かの子, 石原久代: 服装のフォーマル性を規定する色彩・デザイン要因の検討 (1) 日本色彩学会誌, Vol. 37, No. 3 (2011)
- 4) 名取和幸: 日中韓の大学生における色彩意識調査, 日本繊維製品消費科学会誌, Vol. 47 No. 1 (2006)
- 5) SEN Kin, 見寺貞子: 中国北京の高齢者に関する衣服研究及びデザイン提案 日中服飾文化交流におけるシニアファッションショーへのデザイン提案, 繊維連合研究発表会講演要旨集, Vol. 17th (2008)
- 6) 繊維流通研究会: 『日・中・英服装技術用語辞典』(2007)